

レポート：JICA 海外青年協力隊の活動報告

海外青年協力隊員：西田 泉

活動期間：2010年12月～2012年12月

配属先：プエルト・バリ奥斯市スポーツ自治連盟

卓球と笑顔

私は平成22年12月から24年12月までの二年間、中米グアテマラ国プエルトバリ奥斯市で卓球の指導をしてきました。対象選手は5歳から15歳までの子供たち。

グアテマラの学校は二部制で、午前(午後)に学校の授業がある子供たちは午後(午前)になると時間ができます。子供たちは親の手伝いや宿題、友達と遊んだりして時間を過ごします。しかし、時間を持て余した子供たちも沢山出てきます。彼らが非行に走らないように、スポーツ(私の場合は卓球)を通して子供たちの非行防止を目的に派遣されました。

活動は主に選手の卓球技術のレベルアップ、コーチへ指導法の伝授、卓球の普及。子供たちは純粋に卓球が好きで、友達の事が好きで、言葉が満足に通じない私の事も優しく受け入れてくれているようでした。

スポーツに言葉は必要ありません。同じルールの下で勝負します。試合、練習の後は心の交流があり、新しい仲間が増え、絆が深まります。

笑顔とスポーツのルールは世界共通でした。

